

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立西本郷小学校

① 学習指導案

プログラム	No.05 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全12時間)	大すき いっぱい わたしたちのまち
学習のねらい	自分たちの地域を探検する活動を通して、地域に親しみや愛着を。
学習内容	1 地域にいる人や場所について考え、興味をもつ。 2 地域を探検する。 3 探検で発見した町の「いいね」についてまとめる。 4 地域のよさを伝えるかるたを作る。
参考資料 準備品 実施場所等	・地域の方面別地図 ・かるたカード

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 2	・自分たちの地域にいる人や お気に入りの場所を出し合い 、探検への思いをもつ。	・登下校の時のことなどを想起さ せ、身近な人や場所に目を向けさ せる。 ・お気に入りカードに絵や文で表 現できるようにする。	地域には、自分や 友達が好きな人や 場所がたくさんあ ることに気づく。
3 4 5 6 7 8 9	・方面別に地域を探検し、発 見したことを地図に書き込む 。 ・気づいたことや思ったこと を伝え合う。	・外を歩く時に気を付けることを 確認し、安全に探検できるように する。 ・発見カードを地図に貼り、視覚 的に共有できるようにする。	・地域には、すて きな人や場所があ ること、まだ知ら ないことがあるこ とに気づいている 。
10 11 12	・かるたを作って、まちの「 いいね」を伝える。	・自分が感じた地域のよさを話し 合い、かるたで伝えることを決め られるようにする。	・地域のよさを実 感し、進んでかか わろうとしている

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立西本郷小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	地域にいる人や地域にある場所について、話し合い、町探検への意欲をもつ。		自分が行ったことのある場所や、知っている場所を積極的に伝えていた。友達の話から、自分の知らない場所や人に気づき、興味をもっていた。
7	地域	地域を探検し、「まちのいいね」を発見する。		興味をもって探検し、「まちのいいね」をたくさん見つけていた。
3	教室	「まちのいいね」かきたを作る。		自分たちのまちのよさを伝えたいという思いをもって意欲的に取り組んでいた。

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3回町探検を行い、児童が自分たちの町に興味を持つことができるように工夫した。また、拡大したマップを作成し、探検それぞれの地域を比較することができるようにした。</li><li>・探検の際に、一人ひとりに地図を持たせたり、探検の歌を歌ったりすることで、意欲をもって学習に取り組むことができるようにした。</li><li>・かるたを作る際には、50音表などを用いて、スムーズにカルタを作ることができるように工夫した。</li></ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の興味が偏ることがあった。特に、大きな建物や見た動物などに関心がある児童が多く、かるた作りにつなげる際に苦労した。</li></ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今まで暮らしていた地域でも、新たな発見があったと話す児童が多かった。また、学区の中でも、あまり行ったことがない場所も多かったようで、初めて知ることができたことも多かった様子であった。</li><li>・公園を中心に探検を行ったことによって、放課後、友達同士で声を掛け合い、公園で遊ぶことが増えている様子が一部で見られ、友人関係を広げるきっかけとなった。</li></ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町の中に、教育的価値のある施設や場所があることを再確認することができた。</li></ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今回は、児童がよく利用する公園などを中心に学習を進めたが、今後は、学習する規模が大きくなっていき具体物に触れることが、少なくなっていく。教科書や資料などを活用して学習していく中で、あたかもその場にいるような、自分事としてとらえることができるような授業づくりが必要であると感じた。</li><li>・今回、カルタを作り、自分たちで楽しむことで学習を終えた。感染症の流行などもあり、交流は難しかったが、カルタを使った異学年交流も行っていくことができるとよいと感じた。</li></ul>



# ふれあひ西本郷小

令和 2 年度  
2月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和3年1月29日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ: あいさついっぱい みんながえがお 西本小

## 北風に挑戦

校長 佐久間 宣朝

B棟裏の梅の花が、つぼみをふくらませ、春の訪れを待ちわびているかのようです。もうすぐ立春です。しかしまだまだ冷たい風が吹きますが、子どもたちは元気です。

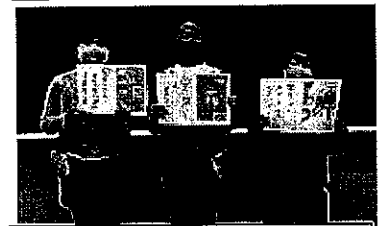
1月8日より緊急事態宣言が発令され、学校もいろいろな点で自粛をしました。保護者の皆様に予定をしていただきました授業参観は、今年度唯一の機会だったと思います。とても残念です。また、4年生のバレエ鑑賞教室を中止させていただきました。学習では、音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカを使用します。2月に非常事態宣言が解除されることを願っています。

さて、1月は書初めでスタートしました。1年生と2年生は教室にて硬筆で、3年生から6年生は体育館にて毛筆で、一生懸命に書きました。3年生は初めての毛筆の書初めで、長い紙に書くのは初めてで、正座をして、少し緊張した面持ちで真剣に書いていました。



真剣な表情の3年生

2年生は10月から「まち探検」で学区を歩いて回りました。公園やアースプラザ、警察学校など、いろいろなものを見つけました。また、まちの素晴らしい景観などを「まちカルタ」にしてまとめました。思い思いのまちの好きなところをカルタにして、友達同士でカルタ大会をすることを目指しています。



完成したカルタ

5組さんは冷たい風にも負けず、体育で「的あてゲーム」を頑張りました。大きな段ボール箱や三角コーンなどを中心に置き、その的をめがけてボールを投げます。しかし、その的に簡単に当てられないようにする、ガードマンもいます。そのガードマンの隙を突きながら、的に命中させなければなりません。ガードマンの動きをかわすために、フェイントをする低学年もいて、その白熱したやり取りは、とても迫力がありました。



ガードマンの隙について

運動委員会が1月の体力づくりとして例年なら大縄集会を企画運営してくれますが、コロナ感染予防のため今年度は「短縄集会」として実施しました。1分間でどれだけ跳ぶことができるか自分で目標を決め、その目標に挑戦しました。ペア学年で行い、励まし合い「頑張って！」の音が聞こえ大変ほほえましかったです。100回に挑戦していた1年生がいました。最終日に達成できて、とてもうれしそうでした。短縄は自然にほかの人と距離をとるので、コロナ禍にはよい運動です。できれば子どもたちに流行ってほしいと私も一緒に参加しました。ペアの相手がいない子のために運動委員会が準備していましたが、私の回数を教え応援してくれました。感謝しています。



励まし合いながら目標に挑戦